

次号予告

特集 広がりゆく企業事例：2023年版

ECバックエンド業務における数理最適化の活用—ZOZOTOWNの例— 千代竜佑 (ZOZO 研究所)
インターネット広告における運用最適化とクリエイティブ自動生成技術の開発
—うれしい広告の実現に向けて— 川上孝介 (negocia(株))
出産育児に関する女性向けコミュニティサービスにおける機械学習の活用事例
. 野澤哲照 (コネヒト(株)), 武井柗悟 (筑波大学), 岩永二郎 ((株)エルデシュ)
ビズリーチにおけるレコメンドの取り組み—特にコールドスタート問題への対応について—
. 中江俊博・張 泰民 ((株)ビズリーチ)
適正在庫自動調整方式の開発とその適用—製造流通業におけるSCMの取り組み事例—
. 小林裕征・大家健司 ((株)日立製作所)
水処理プラント内の装置に対する配置設計に関する取り組み . . . 請川克之・村井真也 (Fracta Leap(株))
不確実性下での再生可能エネルギー抑制と公平性を考慮した発電計画
. 豊嶋伊知郎・山壽朋秀・矢口航太・久保田雅之・水谷遼太 (東芝エネルギーシステムズ),
Pierre-Louis Poirion (理化学研究所AIP), 武田朗子 (東京大学)

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧に必要なユーザー名とパスワードは、会員マイページに掲載しています。

編集後記

●今月号は「組合せ遷移の世界」と題する特集でした。組合せ遷移とは、グラフや順列といった離散的な対象の遷り変わる様を扱う数理的な枠組みです。本特集は、アルゴリズム設計に対する統一的な枠組みを与える研究や電力の配電制御に対する応用研究など非常に読み応えのある6件の記事から構成されています。

●オーガナイザーである伊藤先生の記事では、組合せ遷移の基礎概念とその歴史について書かれています。興味深いこととして、組合せ遷移という理論的な深みと広範さをもつ体系が、電力の配電制御に関する応用から生まれてきたということでした。OR研究に携わる人の多くが理論や手法に目を向けがちですが、さまざま

な応用に関心をもつことの重要性を感じた次第です。

●編集後記の執筆依頼がきた頃、最適化関連の研究集会に参加するため学生時代を過ごした筑波大学を訪れました。3年ぶりのつくばへの訪問だったのですが、駅周辺の景観や会場である春日講堂の内装の変化などさまざまな遷移を感じました。一方で、優秀な若手研究者の研究成果に刺激を受け、休憩時間に研究に関する情報交換や雑談に興じるなど、私が学生時代に参加していた頃から変わらない光景も多く見られました。対面での研究会の良さを改めて実感し、秋のOR学会やRAMPシンポジウムで皆さんとお会いするのがより一層楽しみになりました。

(伊豆永洋一)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 関谷 和之 (成蹊大学)

特集担当編集委員 梅谷 俊治 (大阪大学)

委員 朝日 弓未 (東京理科大学), 伊豆永 洋一 (九州大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田 目 崇 (中央大学), 野々部 宏司 (法政大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和5年7月号 第68巻 第7号 通巻751号

代表者 山上 伸

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 TRUST VALUE 岩本町7F
電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032
<https://orsj.org>

編集人 関谷 和之

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。